



日本共産党 京都市議員

# 北山ただお市会報告

2015年8月上旬号

日本共産党山科区生活相談所 山科区大手先町8-8 TEL595-8342

「北山ただおのホームページ」・フェイスブック連日更新中



## 戦争法案廃案に

### 向けて奮闘

安倍内閣による「戦争法案」の衆議院採決強行に抗議し、参議院での廃案を目指す「戦争法案NO」山科パレード」が行われました。パレードが進むたびに参加者が増え、最終的には百人を超える隊列となりました。梅雨明け宣言が出るほどの厳しい暑さでしたが、「戦争法案反対」「安倍はやめろ」「九条守れ」と元氣よく唱和して歩きました。

山科駅前では日本共産党街頭演説会が開かれ、私は司会を務めました。厳しい西日を受ける中、山本陽子市議、本庄孝夫府議に続いて、来年の参院選京都選挙区で予定候補として奮闘される大河原としたか弁護士と、同じく比例代表予定候補の大門みきし参院議員が、戦争法案廃案に向けての決意を込めた訴えをされました。

## 山科議会報告会を開催

山科区・日本共産党の府会・市議会報告会が、開催されました。今夏最高の暑さにもかかわらず、会場いっぱい参加がありました。

最初に、山本陽子市議員が5月市議会の代表質問の内容について報告し、続いて本庄たかお府会議員が府議会の内容と本会議質問を行った内容について報告されました。

私は京都市会で党議員団は十八名に躍進し、三役人事では排除されたものの常任委員長一名、各委員会で副委員長七名を確保したことを報告し、来年二月に予定されている京都市長選挙に向けての、民主市政の会が発行した「市政黒書」に基づいて市政報告を行いました。報告の後、質疑応答がされました。参加された皆さんの期待の大きさを実感した報告会でした。



## 立派な農産物

### 山科農業祭に参加しました。

山科区農業祭農産物共進会（寺田健三会長）主催の「農業祭」が山科総合庁舎前広場行われました。私は、出品物の表彰をする褒章授与式に出席してお祝いしました。

主催者ご挨拶や審査員長の寺林府立大教授のお話では、今年は天候不順もあって出品数は昨年より少し少なかったものの、日ごろの努力の成果もあって品質はとても良い、とのことでした。

若い方もたくさん参加されていて、役員の方にお聞きすると「後継者がかなり気張っています」とのことでした。



## バス路線拡充を要望

七月二十四日、京都市会の交通水道消防委員会（党委員：河合副委員長、平井議員、北山）が開かれました。交通局から、バスの岡崎循環コースを九月十九日から開始することが報告されました。周辺地域においてのバス路線設置を求めると至れり尽くせりの対応です。

私は質問に立って、「こうした路線の設置は、地域住民の要望に応えることも可能かどうか」と尋ねると、「乗客増が見込めるか、住民の機運が高まる必要がある」とのことです。つまり収入につながるのかどうかカギだということです。困ったものです。私は、市民の足を守る公共交通の役割をしっかりと果たしてほしい、と強く求めました。

## 北山ただおのひょうたん

厳しい暑さの日々ですが、皆様にはお変わりございませんでしょうか。今、安倍政権による「戦争法案」反対の運動が広がっています。過日、京都弁護士会と日本弁護士連合会の共催による、市民集会「戦後七〇年と安全保障法制を考える」が開催されました。雨の降る中、五百人を超える参加があり、戦争法案反対の高まりを感じます。主催者を代表されて、京都弁護士会の白浜徹朗会長がごあいさつに立たれて、「安全保障法案に向けて反対する日弁連理事会声明が出され、京都市弁護士会も会長声明を出しました。署名も集めて取り組みたい」と述べられました。更に、「本来は元自民党総裁の河野洋平さんをお迎えするところでしたが、事情により参加できないため、ビデオレターでお届けします」と説明され、お二人の弁護士の質問に答える形式でのインタビューが流されました。続いて、立命大法文学部の小松浩教授が、戦争法案の危険な内容と安倍内閣の暴走政治に対する批判の講演をされました。講演後、雨が激しく降る中でしたが、怒りのパレードを行いました。幅広い運動を起こして、廃案に追い込みましょう。